

2023 年度小児感染症学会教育セミナー一覧

セミナー名	概要	開催日時	開催場所・形式	主な対象	参考 URL
第 13 回日本小児感染症学会教育セミナー Basic Course	小児感染症診療の基礎となる考え方が習得できるセミナーであり、これから小児感染症を勉強しようと考えている、あるいはより深く勉強したいと考えている若手医師（日本小児感染症学会員）を対象に、毎年日本小児感染症学会学術集会にあわせて開催されている。今年は現地開催として、総論（診断・治療の基本）に加え、普段聞く機会が少なく、小児感染症医としてのキャリアプランを検討する際の一助となるような特別講演（今年は堀越裕歩先生による「WHO での活動、途上国支援」）を行う。また今年は「臓器別感染症」をテーマとした各論講義をオンデマンド配信する。	2023 年 11 月 24 日（金） （第 55 回日本小児感染症学会学術集会前日）	名古屋国際会議場（総論・特別講演は現地開催+オンデマンド配信、各論はオンデマンド配信）	初期研修医、小児科後期研修医	https://cs-oto3.com/jspid55/education_seminar.html
インタラクティブセミナー	今回のテーマは、「その時あなたは どうする？」です。実際の臨床現場では、統一されているようで統一されていないことも多く、なかなか杓子定規には行かないことも多く経験されることかと思えます。「尿路感染症」「髄膜炎」「先天感染(梅毒中心に)」を取り上げ、意外と悩むポイントにスポットを当てていきます。皆で考えながら、日々行っている診療を振り返る機会になれば、そんなセミナーです。 参加方法は今回も各自のスマートフォンを用いた、参	2023 年 11 月 26 日(日) 14 時半頃～、予定) （第 55 回日本小児感染症学会学術集	名古屋国際会議場・現地開催のみ	学術集会参加者全般。 初級者から中級者	

	加型セミナーですので、恥ずかしがり屋の方でも大丈夫です!!	会 2 日目 午後)			
第 4 回日本小児科学会と臨床微生物学会とのコロナセミナー	適切な小児感染症診療を行うためには適切な診断が必要である。小児科医が感染症診療に必要な微生物検査についての知識を得ること、微生物検査技師と連携を深めることが目的である。第 4 回となる今回は小児感染症学会学術集会内で開催し、検査技師を招いて開催する。講演内容は提出した検体の報告までの流れ、検査技師の仕事内容、視点を教えていただくこと、技師との連携、コミュニケーション等についてを予定している。	2023 年 11 月 26 日（日） （第 55 回 日本小児 感染症学 会学術集 会 2 日目）	名古屋国際 会議場・現 地開催のみ	小児科医 小児感染症 医	https://cs-oto3.com/jspid55/
小児敗血症セミナー 2023	小児敗血症は、小児科医であればいつでも・どこでも・誰もが対峙する可能性があります。小児敗血症セミナーは、小児感染症医が中心となり小児救急、小児集中治療領域の学会・医師らと共に、小児敗血症の認知・検査・治療など、敗血症診療スキルの向上を目標に開催します。 今年度のテーマは「 <u>明日からすぐに実践できる敗血症診療</u> 」と題し、1 日目に敗血症診療の基本を講義形式で行い、2 日目には診療現場で直接使える技術や知識を Project Based Learning 法に基づいた、より効果的な Group Work を通して学びます。	10/7-8 2024 年 1 月 6 日 （土）・ 7 日（日）	沖縄県立南 部医療セン ターこども 医療センタ ー（沖縄県 南風原町）	①小児感染症専門医取得を目指すもの ②小児救急医療に従事する者 ③小児科専攻医/小児科専門医 ④小児科開業医	

				⑤集中治療 専門医/救急 専門医/感染 症専門医	
第6回小児 AMR 対策セミナー	薬剤耐性 (Antimicrobial resistance; AMR) 菌の拡大は世界的な問題であり、AMR 対策は未来のこども達に抗菌薬を残しておくことに繋がる。第5回までの開催で小児領域における AMR 対策を推進していくためには、小児診療に関わる全ての診療科、看護師、薬剤師、市民、行政を巻き込んだ、地域一丸となった取り組みが重要であるという結論に至った。第6回は、小児診療に関わる全ての職種に加え、次世代の小児医療を担う医療系学生も対象とした講義・事例紹介と少人数でのグループワークを行う。特に今回は小児診療に携わる小児科以外の診療科の考えを知り、AMR 対策のためにいかに連携していくかを焦点としたテーマを扱う。	2023年9月9日(土)(第32回外来小児科学会年次集会学術集会内)	パシフィコ横浜(午前の部はハイブリッド形式、午後の部は現地参加者対象のグループワーク)	小児診療に関わる全ての職種、医療系学生	https://sagpj2023.com/guideb/ https://www.jspid.jp/news/seminar/6th_amr_seminar/
第2回小児感染症ハイレベルセミナー	本セミナーの対象は、小児感染症をより深く学びたい医師、小児感染症フェローや小児感染症指導医である。小児感染症や免疫不全に関する高度な知識を習得することを目標としている。本セミナー中のワークショップや交流を通して小児感染症を学ぶ者同士のネットワークを構築してもらいたいと考える。今年のテ	2024年1月20日(土)-21日(日)	現地開催	小児感染症をより深く学びたい医師。小児感染症指導医やフェロー、小	

	ーマは、「小児感染症エキスパートへの道」とし、小児感染症の専門家として遭遇する様々な感染症について知識を深められるよう計画している。			児感染症認定医が対象。	
--	--	--	--	-------------	--